

研究課題名

「外来化学療法室における手足症候群に対する患者指導の効果の検証」に関する情報公開

1. 研究の対象

2015年6月1日～2017年4月30日に当院の外来化学療法室で、ドキシル[®]、ゼローダ[®]、ドセタキセル[®](75mg/m²)による治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

化学療法による手足症候群は手掌や足底に疼痛および皮膚変化をもたらす副作用で、発症して重度になると、疼痛を伴う発赤、腫脹、水疱、びらんを形成し、知覚過敏、歩行困難、物がつかめない、などの機能障害がみられる症候群です。手足症候群の対応には、ビタミン B6 内服や冷却などで予防したり、発症後はステロイド外用薬が有効と言われていますが、患者さんやご家族自身による手足の保湿や保清、刺激を避ける、観察などのセルフケアも重要とされています。

当院外来化学療法室では指導用パンフレットを作成し、患者さんご家族へのセルフケア指導に取り組みました。指導前後の手足症候群の出現率や重症度を比較し、指導の効果を明らかにすることで、今後のケアに活かしていくことが本研究の目的です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの情報については、医療従事者(医師、看護師、薬剤師)による経時記録、外来化学療法室記録、入院時背景情報、カンファレンス記録等より、性別、年齢、疾患、既往、職業、治療薬の減量や中断、使用薬剤、他皮膚障害の有無、セルフケア(「観察」「保湿」「保清」「除圧」)の実施状況などの情報を診療録より抽出します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

問い合わせ・苦情の受付先

○問い合わせ先

〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町65番地

名古屋大学大学院医学系研究科化学療法部

電話およびファックス:052-744-1903

○苦情の受付先

名古屋大学医学部経営企画課):052-744-2479

研究責任者および担当者: 名古屋大学医学部附属病院外来化学療法部 安藤 雄一